

第 215 回競技委員会議事録

1. 日 時：2012 年 1 月 4 日（水）17 時 00 分～19 時 00 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 13、定足数 9、出席 13（内委任状 2）で成立。

清水康裕委員長、寺本直志、古田一雄、斉藤千鶴乃、正村祐一、
山後秀幸、西田奈津子、平田眞、山菅昭夫、田中陵華、仲村篤志
以下委任状：林伸之、佐々部君敏

オブザーバー：大政哲人、鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：清水康裕委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 コンベンションリストとアラートチャートに関して

(1) 次回会議に持ち越された。

第 2 号議案 用語集に関して

(1) 用語集の第 2 案が文書にて事前提出された。

第 3 号議案 ルーザーの定義に関して

(1) 前回の競技委員会において清水委員長より第 1 案が提出され、別の意見を持つ委員からは代案の提出を求めた。

(2) 仲村委員より第 2 案が提出され、強いハンドの定義も含め検討された。

(3) 一部委員より新たな意見があったため、次回委員会に代案の提出を求めることとした。

第 4 号議案 リスト D のトリートメントに関して

(1) リスト D の競技会でコンベンションカードの事前提出の無いペアがルール・オブ・10 から外れたウィーク 2 でオープンした場合について、コンベンションリスト：補足 1) は適用されるか否かが検討された。

(2) コンベンションリスト制定時は、リスト C 対象の競技会でプレイヤを保護する目的で補足 1) を制定したため、リスト D 対象の競技会では補足 1) は適用されないことが確認された。

(3) 一部委員より新たな意見があったため、代案の提出を求めることとした。

第 5 号議案 その他議案

(1) 競技会規定に懲戒規定の適用を記載する件は、理事会に於いて疑問視する意見が出た為、懲戒規定の担当ワーキンググループまたは担当委員会からの再要請があるまで保留することとした。

(2) 2011 年 12 月に開催された APBF 同時大会において町田ブリッジセンターで規定のハンドを間違えて 1 週前の競技会に使用してしまったことが報告された。

・通常、第 1 金曜日に開催される同大会が例外的に第 2 週に開催されるため勘違いにより発生した。（ASEAN の大会などの関係のため 12 月に今後も発生することがある。）

・試合開始後数ラウンド経過したのちハンドレコードの印刷をしようとしたところで間違いに気がついた。

・参加者には、ハンドレコードを配らず事情を説明しハンドの情報を漏らさないよう、また本来の APBF 同時大会には参加できないことが伝えられ、了承された。

・正規の日程後、参加者には解説付きのハンドレコードが配布された。

・正規に日程の日には違うハンドで単独のローカルレイティングの競技会が開催された。

以上のことが、町田ブリッジセンターの山菅マネージャーより文書で報告された。

競技委員会は町田ブリッジセンターに注意を行い始末書の提出を求めることとした。また、事務局は同大会が例外的な日程で開催される時、主催者に別途注意を喚起することとした。

(3) IMP リーグに於ける 70 歳以上の参加者のシードポイント優遇制度(人数)について意見があった。今期の改正は時間的に不可能なため、再提案を求めることとした。

次回競技委員会は 3 月 7 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上